2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

みんなの努力で、安全な、安心な 2days race in 木祖村２０２１を開催しましょう。

（防疫体制試案 210404）

　ワクチン接種がなかなか進みませんが、みんなの努力で、安全な、安心な 2days race in 木祖村 2021 を開催しましょう。今回はチーム単位で参加していただける監督さんの仕事を中心に　安全、安心な大会を開催するため　協力をお願いする点を列記しました。

　バラバラな個人が参加する多くの大会とは違い　2days race in 木祖村では、賞金を監督さん指定の口座に振り込む体制になっていることからわかるように、監督さんのお仕事を重視しておりました。チームをまとめて、健康管理を行い、戦略の指示を出し、結果を評価して賞金の分配を決定する。そのように仕事をしていただいている監督さんに向けて、COVID-19 蔓延状況下のこの大会でのいくつかの注意点です。

　＊大会前チームエントリー時

・予備登録制度を十分に活用してください。

　チームは４～５名の選手と１～３名のチーム役員で構成されます。選手３名では参加を拒否します。参加申し込み表に予備登録選手の枠２名分　予備チーム役員の枠 1 名分があります。この部分を最大限利用してください。正登録した選手 5 名の中から体調不良、急な出張が出るかもしれません。その際は予備登録選手から当て込むことができます。あらかじめ予備登録選手を記載しておくのはセクレタリーの負担を小さくするためです。チーム役員も同様です。ご活用ください。

・ジョイントチーム制度を活用してください。

　チーム内で選手が足りない、選手が余ってしまった。いろいろな事情があるでしょうが　5 名の選手がそろわない場合、ジョイントチーム制度を利用してください。協力関係にある隣町のクラブからでも、試合で顔見知りのライバルを勧誘しても、助っ人選手を加えて選手 5 名+予備登録で 1 チーム作ってみましょう。うるさい規則を言うと、同じ母体から複数のチームが出場することに疑問を持たれると思いますが、我々はチーム単位の自転車競走を重視して　ジョイントチームを認めています。条件は　ジャージを本来のチームとは別のジャージで 5 名分ジャージを統一することです。レーシングパンツについてはデザインの統一を問いません。

・タイムトライアルの体制を変えます、でも役員が２名必要です

　2days race in 木祖村ステージ 1A は個人タイムトライアル 8.5km です。修正前のテクニカルガイドでは以下の通りでした。A チーム A1 選手を追走する車両は B チーム役員が運転する B チームの車両です。追走車両に A チームのメカニックが乗車して A１選手の機材故障に備えます。

　蔓延防止の観点から　上記を以下のように修正します。A チームの選手を A チームのドライバーが運転する A チームのチームカーで A チームのメカニックを乗せて追走します。クラスターが発生して

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

も単一チームに収めるための処置です。メカニックがいない場合、ドライバーが運転席側のドアを開けて予備車輪を持って飛び出すと、後続選手の安全確保ができません。ドライバー単独の場合 A チームの車両は安全確認のためだけに追走することになります。パンク落車したらオワリです。よって 2 名の役員が望ましいです。ドライバーのためのチームカー運転心得を作成しております。事前に一読ください。

・補給

いつも通り補給はゴール手前５００m～２００mまでの登坂区間に指定の周回１回だけに設定予定。感染防止のため以下を推奨します。

① 補給地点でのチーム役員がボトルに直接手を触れて選手に渡すことは避けてください。選手ごとに一人分の食料とボトルを入れたビニール袋を用意して，サコッシュに２～３人分入れてください。このサコッシュを選手数またはそれ以上用意してください。当然、選手でボトルを直接手に握って受け渡しすることは避けるようにご指導ください。ボトルの飲み口がむき出しも避けてください。

② ゴール手前５００mから３５０mまでの走路右側の道路幅の広い区間にチームカー駐車場所の白線の枠を引きます。チームカー２台を縦に入れることのできる幅を想定。その枠がチーム駐車場ピットです。走路を挟んで走路左側にも同じような幅の白線を引きます。これら３５か所の枠が第一補給場所です。

　同様にゴール手前３５０mから２００mまでに白線の枠を引きます。これが第二補給場所です。補給の機会は同じ周回上で２回あることになります。

③ 枠から出ないで補給してください。枠のなかにいて選手に補給を渡してください。チーム役員が自由に動き回って補給した場合、密集状態になる危険性があります。

④ チーム役員が第一補給場所、第二補給場所で待機　どちらの役員がどれだけのサコッシュを分担するかはチーム内で相談してください。

⑤ サコッシュで受け取った食糧飲料は選手間でビニール袋単位で受け渡してください。ボトルを直接握って受け渡すことは避けてください。使い終わったビニール袋とサコッシュはモトに預けるか　次の周回でグリーンゾーン、走路左側のチーム駐車場のチーム役員に投げ渡して下さい。チームピット周辺のごみは大きなビニール袋に入れて密封して、チームで持ち帰ってくださいグリーンゾーン以外でのごみの投棄は１回の投棄で３０００円の罰金です。

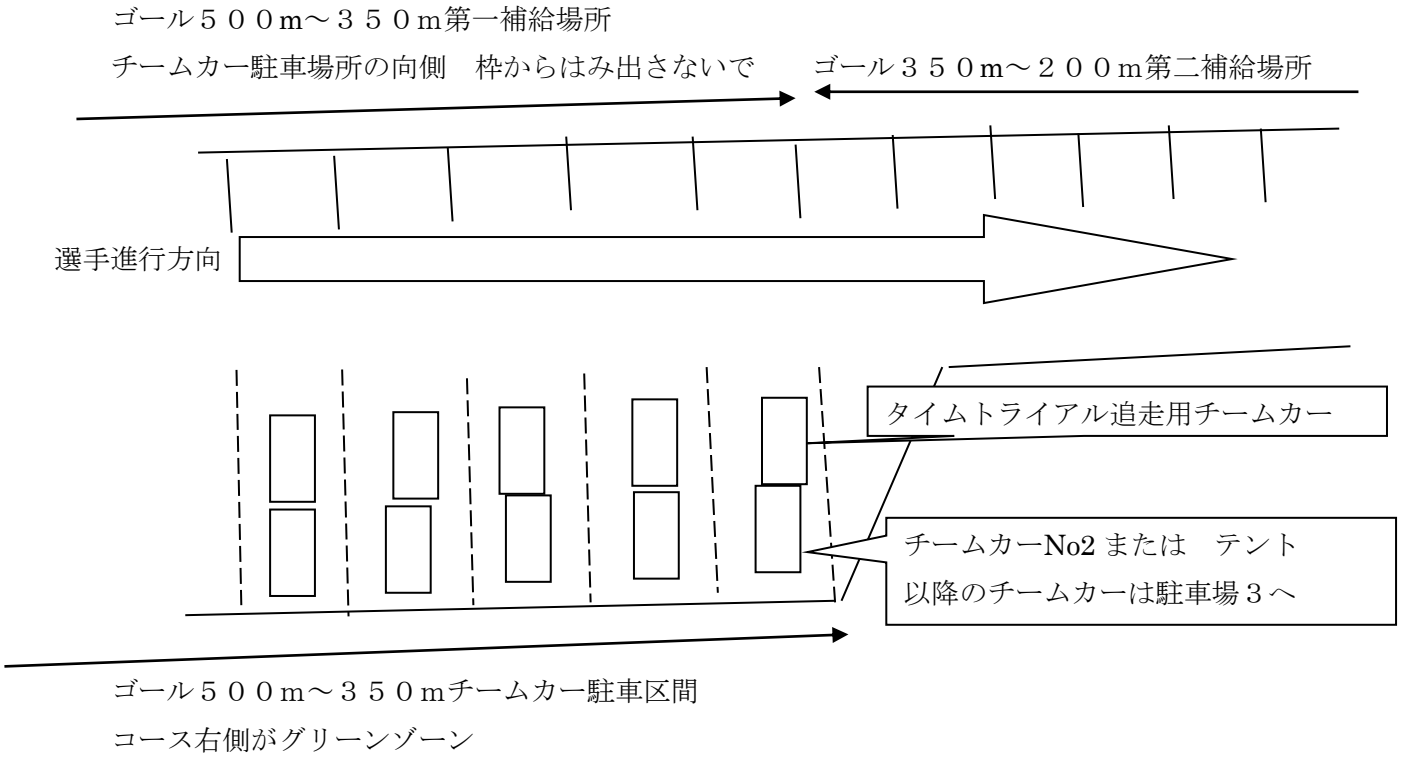
⑥ 脱水症状対策のための共通ボトルを設定します。上記の補給に失敗したチームのために真水を入れたボトルを COM1,2,3 で運搬します。ボトルにはビニール袋をかぶせてありますので　vinyl

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

袋はグリーンゾーンでチームカーに向かって投げ渡すか，モトに手渡してください。

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

補給場所イメージール



選手一人当たりのサコッシュの例

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

ビニール袋は３０ｘ４５ｃｍ　0.03mm を利用

飲み口覆付きか　ボトルを消毒後ビニール袋に

＊大会前に準備してほしいもの

・コロナ以前の大会では用意しなくてもよかった物ですが、今年の大会では監督さんに用意してもらうことを強く推奨します。

1）マスク　　多数　できたら二重に　試合前後選手がマスクなしの状態でいる時間をなくしてください。監督さんが余分に持っていて、走り終わった選手に直ちに手渡すようにしてください。もう、どこのスーパーでも自由に手に入るはずです。

2）消毒剤　「自分以外はすべて自覚のない感染者かもしれない。」このような考えで、ご自身とチーム員と 2days race in 木祖村を受け入れてくれる木祖村の皆さん方の健康を守るために努力してください。ネットでは送料込みで２０００円ほどでした。ふき取り用のキッチンタオルもお忘れなく。

国産アルコール除菌剤　BN ジョキノール　1L :bnjokinol-1l:株式会社ビー・エヌ - 通販 - Yahoo!ショッピング

3）使い捨てのラテックス手袋　　接触による感染を防ぐため　ラテックス手袋をご利用ください。今回の大会で接触する可能性のある瞬間は　ライセンスコントロール、補給、表彰式、撤収作業　などいろいろな場面があります。危険率を下げるためにラテックス手袋の着用を推薦します。ネットでは箱 100 枚入りで 2420 円でした。

ニトリル手袋 My Med Care 100 枚入り パウダーフリー 使い捨て ニトリルグローブ :11800001-99:QOL 倶楽部 - 通販 - Yahoo!ショッピング

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

４）大きなビニール袋　　試合会場で発生するごみはすべてお持ち帰りください。安全に持ち帰るために、大きなごみ袋(80x90cm)2 枚程度ご用意ください。ホームセンターで入手可能です。

５）中くらいのビニール袋とサコッシュ　選手一人分のボトルと食料をビニール袋に入れます。この袋を選手人数分作成してサコッシュに入れます。第一補給場所、第二補給場所の２か所に分かれて補給を行ってください。確実に補給させたいなら選手数の倍のサコッシュを用意してください。

５）非接触式体温計　　２２日、２３日朝、会場進入時に、当日体温管理表を担当役員に提出してください。わきの下に入れる体温計で十分ですが、非接触式の体温計がネットで存外廉価で出品されていました。

セール限定価格 非接触体温計 日本製 センサー搭載 体温計 非接触型 検温器 非接触 おすすめ 正確 おでこで測る体温計 額体温計 赤外線温度計 電子体温計 :twq003f:LIOGINO - 通販 - Yahoo!ショッピング

６）ハンドマイク　　大声でチーム員に応援すると、選手は最後の力を振り絞ってくれるでしょう。しかしながら COVID-19 蔓延状況下では　大きな声で指示を出すこと、応援することは避けてください。ご存知のように　唾による感染の心配があるからです。でも、選手に必要な指示、タイム差を知らせたい、黒板モトの情報だけでは心もとないという監督さんは　ハンドマイクをご用意ください。最近はハンドマイクも思った以上に安価になっているようです。ネットでは手持ち２５Ｗで２０００円程度　首掛け式両手が使えるタイプで 4000 円ほどでした。

拡声器 ハンドマイク付 本格 メガホン 大迫力 25W 高出力 メガフォン 集合 ショルダーベルト付 アラーム音搭載 業務用拡声機 便利 ◇ 25W ハンドマイク付 メガホン :20120420-mega-i-shop7 - 通販 - Yahoo!ショッピング

拡声器 ハンズフリー ポータブル 小型 マイク ハンドフリー 手ぶら 携帯 選挙スピーカー サンワダイレクト - 通販 - PayPay モール (yahoo.co.jp)

７）不織布 A4　　各種リーダージャージの胸と背中に高さ 20cm でチーム名、スポンサー名を表示できます。安全ピンで固定すると垂れさがったりしてかっこ悪いですね。試みに、今年はリーダージャージの胸と背中に 20cm 幅でマジックテープのパリパリのテープを縫い付けます。監督さんはレーザープリンターで印刷できる不織布を入手するか、専門業者にお願いして胸に張り付ける布を製作して下さい。布にはマジックテープのふわふわのテープを貼り付けてください。先頭選手ゴールと同時に始まる表彰式で着用するリーダージャージにチーム名入りの布を貼り付けてください。10 枚入りで 1000 円ほどでした。

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

レーザープリンタ用クロス　（不織布 ゼッケン対応品）　Ａ４　１０枚　クリックポストにて全国無料配送 :CP5102-HA-A4-10:プリンタペーパープロ - 通販 - Yahoo!ショッピング

８）各種提出書類、持参書類　　国内の同業類似大会から各種提出持参書類の書式①から⑤を作成しました。監督さんは HP からダウンロードして様式を印刷してください。

①日本スポーツ協会編　スポーツイベント参加チェックポイント　ご一読ください。
スポーツ協会チェックリスト①

②体調管理表　監督さんは予備登録を含むチーム全員にメールにて配布して　大会２週間前から記入させてください。当日会場入り口での提出は不要ですが、後日体調不良が発生した場合、提出を求めることがあります。　体調管理表②

③参加注意事項同意書　監督さんは大会 HP からダウンロードして記入持参ください。２２日朝コース侵入時に担当役員に提出ください。　参加注意事項同意書③

④当日体温管理表　　監督さんは（チーム選手数＋チーム役員数）×２日分をダウンロード印刷して、持参ください。２２日朝記入ください。コース入り口担当者が抜き打ちで検温を行います。２３日朝も同様に検温記入して提出ください。　当日体温管理表④

⑤コース侵入 ID　　監督さん宛てに ID をメールにて配信します。印刷してドライバー側フロントガラスに張り付けておいてください。1 台につき 1 枚必要です。コース沿い、補給区間(ゴール手前５００ｍ「～２００ｍ」の駐車スペースは１チーム 2 台までを想定しています。(雪解け後に再度確認して連絡します)チームの３台目の車両でおいでの方々は２２日宿泊先の駐車場に車両を置いて 2 台乗り合わせでおいでください。　コース侵入用 ID⑤

⑥安全ピン　ライセンスコントロール、ゼッケン配布での接触の機会を減らすため、各チームで安全ピンを持参ください。4 か所/枚　×２枚/選手　×５名　＝４０本＋予備

９）出走、出走サイン

コロナ騒動を受けて 2days race in 木祖村でも　出走段取りを修正します。

①ステージ１A　個人タイムトライアル

出走サインなし　ジグはゴール付近に設置

上位選手については　ジグにて計測を行う

②ステージ１B　ロードレース

出走サインなし

本部前にて　指定時刻にチーム単位で記念写真を撮影する。

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

その際ゼッケン他をチェックする。
ステージ 1A の成績により　出走グループの位置を指定する。
任意で選手を呼び出して、出走グループ位置を確認する。

③ジュニア、残念レース
出走サインなし
ステージ 1A で走行した周回に応じて　出走グループ位置を指定する
任意で選手を呼び出して、出走グループ位置を確認する。
その際ゼッケン他をチェックする。
長野県インターハイ予選参加選手は最後尾からの出走とする

９）表彰の段取り
コロナ騒動を受けて 2days race in 木祖村でも　表彰式段取りを修正します。
①ステージ１A　個人タイムトライアル
暫定上位 3 選手は本部わきに用意したホットシートにて待機ください。
監督さん（マッサージャー）は着替えとマスク、消毒薬を用意してください
②ロードレース（ステージ 1B,　ステージ 2　残念レース）
表彰対象選手はこれまで通り　先頭ゴール直後に実施予定
監督さんはマスク、着替え、消毒薬を持参して本部附近に待機ください。
表彰グループごとに机に置かれる花束、賞品、シャンペン、リーダージャージを着用して表彰台に上ってください。記念撮影をして　シャンパンを開けて終わりです。
現在想定している表彰の順番は　ステージ上位 3 名
スプリント賞総合上位 3 名
新人賞　上位 1 名
O-40 賞　上位 1 名
個人総合　上位 3 名
団体総合　1 チーム
インタビューできるか検討中です
周回賞は周回賞直後に賞品獲得した選手を告知しますので、本部にて賞品を受け取ってください。

９）木曽安心の店チェックリスト
宿舎で　木祖村ではスキーシーズン安全、安心な宿泊を心掛けてきました。木曽安心の店チェックリストという形で各宿に配布してあります。監督さんはチーム員が宿でチェックリスト達成できるようにご協力ください。ご自身と、皆さん方を受け入れてくれた地元の方々を守るための手段です。

１０）ゼッケン　フレームプレート返却

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

ささやかな予算でやりくりしている 2days race in 木祖村はゼッケン、フレームプレートを回収して再利用しています。ゼッケンの固定に両面着テープを使用しないでください。

監督さんはチーム単位で取りまとめて、配布したビニール袋に入れて　ゼッケン回収箱に入れてください。主管者で消毒して貸与をいただいた組織に返却します。選手が使った安全ピンは選手がお持ち帰りください。

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

＊大会当日までの行動

１）体調不良、発熱は絶対に無理しない。

体調不良、発熱は絶対に無理しないでください。あなたご自身の健康にかかわるだけでなく、チーム員の健康にかかわります。2days race in 木祖村を受け入れてくれた木祖村の方々を不安にさせてしまいます。 来年以降も 2days race in 木祖村が地元の方がに喜んで迎え入れてもらえる大会であり続けたいものです。どうか、勇気をもって　体調不良を監督さんに申告して、予備登録選手を走らせてください。

２）コース入り口で

味噌川ダム周回コース周回コースの入り口はダム堤体左側ふるさと館　右側ダム管理所の 2 か所があります。侵入用 ID⑤をフロントガラスドライバー側に張り付けてください。ふるさと館入り口から侵入したチームはレース進行方向で停滞を走行して、ダム管理所入り口の役員のところで停止してください。コース侵入に必要な書類③，④を担当役員に提出してください。抜き打ちで非接触式の体温測定を行う場合があります。ご協力ください。

３）チームカーパーキングチームキャンプ設営

ゴール手前５００ｍ～２００ｍまでの範囲でチーム用駐車場をチーム当たり 2 台分だけ用意します。駐車場所は早い者勝ちです。前日にひく白線を尊重して、効率の良い使い方をお願いします。駐車枠を超えて隣の枠にかかるようなテントは迷惑行為です。

３）ライセンスコントロール　マネージャーミーティング

審判はフェイスシールドと手袋で対応します。ご理解ください

袋に入れたゼッケンをチーム単位で配布します。内容を確認してください。安全ピンはチームで持参ください。ステージ 1A 個人タイムトライアルで追走するチームカーのためのステッカーを配布します。フロントガラス上部に横長で張り付けてください。チームカーの序列を示す A4 の要旨も配布します。追走する予定の選手の発送順番に相当する数字１～３５です

競技者登録証は提示のみとします。エントリー時点でライセンス番号に誤りがないこと確認ください。2days race in 木祖村の上位入賞選手には　全日本選手権ロードレースの出場資格を与えられますので、獲得した出場資格を正しく利用するためには　正しい選手登録証が絶対に必要です。ご協力ください。

マネージャーミーティングはいつもどおりに手短に。

＊競技中

１）個人 TT の注意事項

・別図 TT スタート配置図に従って　追走するチーム車両を所定の位置で駐車してください。選手のメカニックが乗り込んでくるはずです。車の中の方々は　マスクをして、換気に十分注意してくだ

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

さい。メカニックがハンドマイクを使うことは自由です。スピーカーだけ外に出して、マイクに風切音が入らないようにして　選手に指示が伝わるようにしてください。参加チーム数によりますが、走り終わったらそのまま、チームカー待機場所の列に加わることになるかもしれません。

・ すべての出走車両を対象とした検車は実施しません。ゴール地点付近にジグを設置します。上位選手については抜き打ちで車検を実施します。

２）個人 TT 表彰式

感染防止のため以下の処置とします。

・ 競走の途中で暫定順位を告知する。暫定上位の選手は本部テント附近に待機されたい。上位３位以内から陥落した選手はチームテントに帰ることができる。監督は着替え飲み物を本部テントに持参されたい。
・ 競技役員は本部テント下に机を置いて　花束、リーダージャージ、賞品を用意する。監督はリーダージャージの胸、背中に張り付けるチーム名表示の布を持参されたい。監督が布を貼り付けて表彰式となる
・ 表彰対象選手はリーダージャージを着用して　花束、賞品を手に持って　表彰台に上ってほしい。表彰台は２ｍの間隔をあけて設置する予定である。

４）ロードレースステージ

・出走直前まで　選手はマスクを着用されたい。直前に監督に手渡してほしい。
・ 出走サインは行わない。出走を確認するために指定した時間に　ゴールライン付近で記念撮影を行う。その際ゼッケンを確認する。
・ 団体総合成績暫定１位の表彰をスタート前に　黄色のゼッケンを手渡して行う。監督チーム役員は TT 成績発表時に受け取る団体総合１位　黄色地のゼッケンを選手に装着させて、出走前の表彰式に出席させること。
・ ステージ 1B ではステージ 1A 個人タイムトライルのタイム順で出走位置をグループ分けする。集団全体の安全のために行う処置である。担当審判が抜き打ちで所定のスタートグループにいるか確認する。不正があった場合、出漕位置を最後尾に変更するなどのペナルティーを科すことがある。
・ ごみは補給区間と重なって設置されるグリーンゾーンでコース右側のチーム車両方向に投げ渡すこと。左側は急こう配の排水路でごみがダム湖に流入する危険性があるため　車両側に投げ渡してほしい。

　競走中　コース上で、ごみを処理したい場合、補給で受け取ったサコッシュを処理したい場合など、モト。審判車両に合図をして　モト、審判車両に手渡すこと。グリーンゾーン以外でのごみの投棄はペナルティー３，０００円の対象となる。このペナルティーについては抗議を受けつけない。

・ 補給は所定の周回時のみ、指定の補給区間(ゴール手前５００ｍ～２００ｍ)コース左側からのみ

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

認める。感染予防のため　選手が振れる可能性のあるボトルについては　不特定多数が接触しないようにビニールで覆う、サコッシュを利用するなど配慮してほしい。

・ 熱中症、脱水症状予防のため、審判車両に予備ボトルを２０本積載する。ボトルの内容は水である。補給に失敗した選手は最終周回を除いて　審判車両からボトルを受け取ることができる。

５）ロードステージ表彰式

・競走の展開、仮想レースリーダーなどできる限り多くの情報を放送する。表彰対象選手がゴール前に決まる場合(スプリント総合など)、予め放送するので、表彰対象選手の監督さんは本部テントに着替え、飲食料、洗面道具などを持参されたい。

・ 競技役員は本部テント下に机を置いて　花束、リーダージャージ、賞品を用意する。監督はリーダージャージの胸、背中に張り付けるチーム名表示の布を持参されたい。監督が布を貼り付けてリーダージャージを着用して、表彰式となる

・ 表彰対象選手はリーダージャージを着用して　花束、賞品を手に持って　表彰台に上ってほしい。表彰台は２ｍの間隔をあけて設置する予定である。シャンペンシャワーを行う。

・ 試合後　周辺のごみをすべて　持参の大きなビニール袋に入れて　回収して会場から撤退してください。

・ 監督は５枚のゼッケンをまとめて１枚の袋に入れて　ステージ２終了後本部に提出ください。選手ごとにばらばらで本部に持参されることのないようにご協力ください。

６）宿舎で、帰宅後

・木祖村の民宿は別紙⑥の木曽安心の店チェックリストに従って　安全安心な宿泊を提供しています。幸いなことに２０～２１スキーシーズンも感染騒動などなく過ごすことができました。2days race in 木祖村に参加する選手役員の皆さん方も　安全安心な宿泊に向けてご協力ください。当然ですが、宴会などなさらないでください。三密を避けての食事にご協力ください。

・ 万が一　２３日朝発熱した場合。毎朝監督さんはチーム全員の検温を実施してください。１名でも発熱症状がみられる場合、参加を断念してください。勇気をもって、参加を断念して、帰宅してください。発熱症状があった旨　メールなどで大会本部宛てに連絡してください。

セクレタリー小川　info.kijimadaira2days@gmail.com

・大会終了後安全運転で帰宅してください。帰宅後に発熱症状などが見られた場合も、メールなどで大会本部宛てに連絡してください。

セクレタリー小川　info.kijimadaira2days@gmail.com

・賞金は監督さん指定の口座に振り込まれます。試合でのチームへの貢献度に応じて、監督さん

2days race in 木祖村 2021　安全安心にするため

が選手役員に振り分けると思います。賞金の出ない総合 20 位で完走するよりも、潰れることを覚悟で、自チームのエースのために集団を引っ張ったほうが、選手に振り分ける賞金が増えるはずです。